

乳がん 高度検診・治療センター NEW-す NO.19

2015.6

乳がん診療はチームで!! 薬剤師も活躍しています!



乳がん診療は乳腺外科だけでなく、放射線科(診断・治療)、形成外科、病理など医師団の協力体制は言うに及ばず、看護師、放射線技師をはじめとした検査技師、薬剤師などのメディカルスタッフも含めたチームで治療されています。がん治療すべての領域でチーム医療体制が浸透してきましたが、そもそもチーム医療という概念自体乳がん治療に始まっているのです。

メディカルスタッフのうちでも看護師や検査技師は患者さんにとって身近な存在と認識されていますが、薬剤師も深く関与していることは案外ご存知ない方が多いようです。

乳がんに対する薬物療法は内分泌療法薬(ホルモン剤)、抗がん剤(化学療法薬)、および分子標的治療薬に大別され、それぞれにまた多種類の薬剤があり、個々の薬剤の特性に精通した薬剤師の存在は必要不可欠です。抗がん剤や分子標的治療薬の治療であれば、医師が処方した処方箋の内容について注射薬の量、投与期間、注射の速度、混合して処方する場合には薬剤間で相互作用がないかチェックするのも薬剤師の重要な役目です。健康食品やサプリメントを摂取している患者さんではがん治療薬との相互作用で思わぬ悪影響が出ることもありますので、必ず担当医や薬剤師に申し出てください。+

外来化学療法室では化学療法審査委員会で審査され承認を受けた抗がん剤治療のレジメンに基づき、薬剤師が無菌的に抗がん剤あるいは分子標的治療薬の混合を行います。当院でも、外来における抗がん剤や分子標的治療薬の治療にあたっては専門的知識を有する「外来がん治療認定薬剤師」がサポートしています。

「入り口」は乳腺外科だが治療はチームで

一方、病棟での薬剤師は、医師や看護師と連携をとりつつ使用される薬剤についての相談や、副作用のチェックを担当します。

乳がん治療に関しての薬剤師の活動について、さらに詳しいことをご存知になりたいことがありましたら乳がん高度検診・治療センターあるいは化学療法室にお問い合わせください。

乳腺外科医

放射線科医
(診断・治療)

看護師

検査技師

薬剤師

形成外科医



KAZUKA

市立貝塚病院
TEL : 072-422-5865

